

高松中央局
料金後納郵便

親展

XXX-XXXX
xx県xx市xx町 xxx番地xx
項番：8
国保 太郎 様
カスタマーバーコード（郵便バーコード）エリア

国民健康保険医療費のお知らせ

〒 XXX-XXXX
xx県xx市xx町xxx番地x
xx市役所
xxxx課
XXX-XXX-XXXX

以下項目は管理用コードです。
全体の通し番号/
保険者ごとの通し番号 → xxxxxx/xxxxxx xx/xx

② ①と②の矢印部分よりゆっくりはがして開けてください。① はがきが湿っている場合は十分に乾かしてからのはがしてください。

あなたやご家族の方が受診された12か月分(令和XX年XX月から令和XX年XX月まで)の医療費はつぎのとおりです。

| 被保険者番号 | | XXXXXXXX | | | | | |
|----------------|---------|----------|------|--------|-----------|---------------|--|
| 受給者氏名 | 医療機関等名称 | 診療年月 | 受診区分 | 日数(回数) | 医療費の総額(円) | 被保険者の支払った額(円) | |
| 国保 太郎 | XX医院 | XX XX | 外来 | X | 10,000 | 3,000 | |
| 国保 花子 | XX歯科医院 | XX XX | 歯科 | X | 5,000 | 1,500 | |
| *****<合計>***** | | | | | 15,000 | 4,500 | |

提供ファイルの文字を全て印字
入りきらない場合は、文字の縮小を行う

診療年月 項番：31
年、月ともに2桁で表示
例) 50403 04(年)03(月)

受診区分 項番：36
コード値で提供
1：入院
2：外来
3：歯科
4：薬局
5：訪問
6or7：柔整
上記以外：食事を表示

最終行に合計と印字した
保険者の
支払った額の合計額
マイナス数字あり、

医療費の
支払った
項番：38
マイナ
桁区切り

日数(回数) I
食事の場合(回数)

2枚以上にわたる場合は枝番

② ①と②の矢印部分よりゆっくりはがして開けてください。①
はがきが湿っている場合は十分に乾かしてからはがしてください。

このお知らせについて

このお知らせは、国民健康保険がみなさまの健康の保持・増進に役立っていることをご理解いただくとともに健康の大切さを改めてご認識いただくためのものです。みなさまが病気やケガのため国民健康保険で診療を受けた場合、医療機関等へ支払われる医療費は、みなさまが負担された保険料(料)や国からの負担金などで賄われています。保険料(料)の有効活用のため、日ごろから健康管理に努めましょう。


注意

- ①この通知は、みなさまが受診した医療機関等からの請求により、作成しています。（医療機関等からの請求が遅れる等により、表示期間に受診していても通知に含まれないことがあります。）
- ②交通事故等で医療機関等を受診する場合は、市町の国保担当者まで必ずお知らせください。
- ③仕事上のケガ等に健康保険は使えません。労働基準監督署に労災申請をして治療してください。
- ④医療機関等が提出したみなさまの診療報酬明細書（レセプト）等は健康づくり等の認識を深めていただくことを目的として保健師による健康指導等に活用させていただきます場合があります。

マイナ保険証を利用しましょう

マイナ保険証を利用すると、特定健診や処方された薬の情報が確認できます。また、高額療養費の限度額を超える支払が免除されます。

※マイナンバーカードを保険証として利用するには
事前登録が必要です。詳しくはこちら▶▶▶



後発(ジェネリック)医薬品を活用しましょう

後発(ジェネリック)医薬品とは、新薬と同じ成分や効果が認められたより低価格な薬です。医師や薬剤師に相談の上、活用しましょう。

年1回、特定健診を受診しましょう

40歳から74歳の方は、生活習慣病予防のため、
特定健診を受けて健康管理に役立てましょう。



反対側にもご案内があります。同様に左下より開けて中をご確認ください。
はがきが濡っている場合は十分に乾かしてからはがしてください。

[illegible]

郵便はがき

1. このお知らせは、医療費控除の申告手続で医療費の明細書として使用することができます。なお、医療費控除の対象となる支出で、このお知らせに記載されていないものがある場合には、別途領収書に基づいて「医療費控除の明細書」を作成し、その明細書を申告書に添付していただく必要があります。（この場合、医療費の領収書は確定申告期限から5年間保存する必要があります。）
 2. 令和5年11月から12月診療分についても、医療機関等からの領収書に基づき作成した医療費控除の明細書を申告書に追加して添付してください。
 3. 「被保険者の支払った額」には、自己負担相当額が記載されています。なお、「被保険者の支払った額」と実際にご自身が窓口で支払った額が異なる場合（公費負担医療や地方公共団体が実施する医療費助成、療養費、出産育児一時金、高額療養費がある場合など）があります。こうした場合には、例えば、「被保険者の支払った額」欄に記載の額から公費負担医療の額を差し引く等、ご自身で額を訂正して申告いただく必要があります。
 4. マイナンバーカードを用いて「マイナポータル」（ウェブサイト）でも医療費情報を確認できます。医療費控除の申告にも利用できますので、ご活用ください。
 5. 医療費控除の申告に関することは、税務署にお問い合わせください。
- ※医療費のお知らせは、年1回通知いたします。なくさないよう大切に保管してください。